

特別養護老人ホーム 省エネ園 様

見本

省エネルギー診断報告書

平成 26 年 3 月

一般財団法人省エネルギーセンター

整理番号	B133999	診断日	平成26年2月19日 水曜日
診断先名	特別養護老人ホーム 省エネ園		
用途	病院(介護・福祉)		
診断先対応者	管理部 管理課長 XXXXXX 様 他2名		
診断者	エネルギー使用合理化専門員 港 一郎(正)、芝浦 二郎(副)		
連絡先	一般財団法人 省エネルギーセンター 本部 佐久 元 TEL:03-5439-9710 FAX:03-5439-9719		

I 省エネルギー診断結果総括

1. 診断結果概要

エネルギー管理状況について

(詳細はp.3をご覧ください)

- ・ エネルギー管理に関して重要な6区分(管理体制、運転管理等下記レーダーチャートを参照)に関して、各5点満点で評価しました。貴施設のエネルギー管理状況は6区分の平均が2.7点でCランク(※1)です。上位ランクを目指して改善を図る必要があります。
- ・ 管理体制および運転管理については良好です。今後は、計測記録、見える化及び保守管理を強化していくことが望まれます。

エネルギー使用状況について

(詳細はp.4～5をご覧ください)

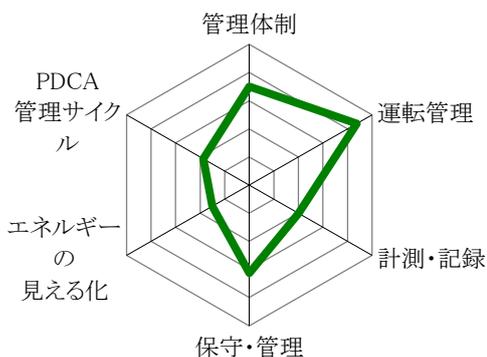
- ・ 現状のエネルギー使用量は年間227kL(原油換算値)で、費用は用水を含めて約2,440万円です。
- ・ 電力使用量は全体の70%強、燃料が30%弱となっております。冷暖房期に電力使用量が大幅に増加しております。

エネルギー削減ポテンシャルについて

(詳細はp.6～8をご覧ください)

- ・ 今回の省エネ診断での年間エネルギー削減ポテンシャルは原油換算で約30kLとなり削減率は約13%、削減金額で約248万円となり削減率は約10%となりました。
- ・ その内訳は投資不要で運用で削減できるものが6.6kL、投資回収期間5年以下のものが15.8kL、投資回収期間が5年を超えるものが7.6kLです。

エネルギー管理状況



貴施設の平均点は2.7でCランク(※1)です

※1 H24年度診断実績をベースとする参考値です
Aランク:平均点4.0以上(分布の上位20%圏内)
Bランク:3.5～3.9(分布の上位20～40%圏内)
Cランク:3.4以下(分布の上位40%圏外)

年間エネルギー使用状況と削減ポテンシャル

	現状	削減量	削減率
原油換算量 [kL]	227	30.0	13.2%
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]	460	56.3	12.2%
費用※2 [千円]	24,404	2,488	10.2%

※2 費用は用水を含みます

削減量内訳:原油換算量(kL)

投資区分	I	II	III	合計
電気	4.5	15.3	7.6	27.4
燃料・熱	2.1	0.5	0.0	2.6
合計	6.6	15.8	7.6	30.0

投資区分・・・ I: 運用にて実施可能な提案

II: 投資回収年数が5年以下の提案

III: 投資回収年数が5年を超える提案

I 省エネルギー診断結果総括

2. 省エネルギー改善提案一覧

- ・ 今回の省エネ診断では、投資不要で運用によって改善できるものを5件(年間削減額約54万円)、5年以下の投資回収期間で実施できるものを2件(削減額133万円)、5年以上の投資回収期間で実施できるものを2件(削減額61万円)提案します。
- ・ 投資を伴わない提案についてはすぐにでも実施できます。投資回収5年以内の提案で金額効果の大きいものもあります。また回収年数が5年以上のものについては計画的に実施されることを希望します。

★ 提案No.1～5は投資不要で運用にて実施可能です。

提案No.6～7は投資回収期間5年以下です。提案No.8～9は投資回収期間5年以上です。

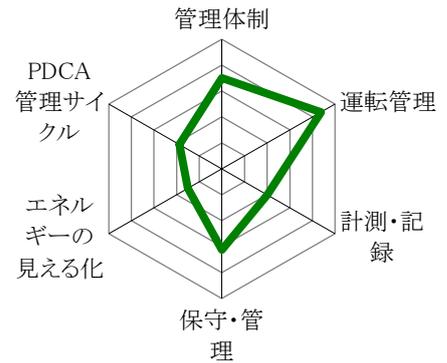
No	改善提案	原油換算		削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
		削減量 [kL]	削減率 [%]			
1	空調設定温度の緩和	2.0	0.9	161	—	—
2	空調室外機のフィン清掃	1.8	0.8	143	—	—
3	ボイラーの運用変更	1.6	0.7	132	—	—
4	天井照明の間引き	0.7	0.3	59	—	—
5	温水ボイラーの空気比低減	0.5	0.2	42	—	—
6	空調機の間欠運転	15.3	6.7	1,237	3,500	2.8
7	節水型シャワーヘッドへの交換	0.5	0.2	97	50	0.5
8	天井蛍光灯のLED化	6.4	2.8	521	6,020	11.6
9	誘導灯のLED化	1.2	0.5	96	658	6.9
合 計		30.0	13.2	2,488	10,228	—

- ・ 投資不要の提案、投資回収期間5年以下、同5年を超える提案をそれぞれ原油換算削減量の多い順に記載しています。
- ・ 原油換算削減量は各提案の年間エネルギー削減量の原油換算値です。
- ・ 原油換算削減率はそれぞれの原油換算削減量の現状のエネルギー使用量227(kL)に対する比率です。
- ・ 削減額は各提案の年間エネルギー費用削減額です。
- ・ エネルギー単価は貴事業所より提出していただいたデータに基づく実績単価です。
- ・ 回収年は投資額を削減額で除した値です。
- ・ エネルギー削減量、投資額は概算値です。実施に当たっては貴事業所で詳細検討を実施してください。
- ・ 各提案の詳細については「エネルギー削減ポテンシャル」(詳細版)の「3.提案内容の説明」(p.7)をご覧ください。

II 省エネルギー診断結果詳細

エネルギー管理状況について

- ・ 貴施設のエネルギー管理状況は平均点が2.7でCランクです。
- ・ エネルギー管理状況の詳細については下記チェック表をご覧ください。チェックが×の項目について改善をご検討ください。
- ・ なお、ランク付けは平成24年度の省エネルギー診断結果(約900件)をベースにした参考値です。
- ・ 省エネの第1歩は使用量の計測です。データを計測し、見える化することにより、従業員と状況を共有化します。それにより従業員の意識の向上を図り、省エネ活動を継続してください。また、保守点検も重要です。



(A:平均点4.0以上は上位20%圏内です。 B:平均点3.5～3.9は上位20～40%圏内です。 C:3.4以下は上位40%圏外です。)

区分	評点	項目	質問	チェック
管理体制	3.5	組織の有無	エネルギーを管理する責任者や部署を決めていますか	○
		トップの意志表示	ポスターやスローガン等で周知を図っていますか	○
		関連部署の連携	複数部署からのメンバーが活動に参加していますか	△
		活動記録	エネルギー管理活動の記録(議事録など)はありますか	○
		計画的人材育成	エネルギー管理に関する人材育成をしていますか	×
運転管理	4.4	運転基準	主要設備の運転基準はありますか	○
		運転管理する人	基準に従って、運転管理する人を決めていますか	○
		最大電力管理	デマンド計などで最大電力に注意を払っていますか	○
		基準の見直し	運転基準は必要に応じて見直していますか	△
計測・記録	2.0	エネルギー使用量	エネルギー使用量の伝票等の記録はありますか	○
		設備稼働時間	燃焼,空調,照明等主要設備の稼働時間記録はありますか	×
		個別エネルギー量	部門又は用途別のエネルギー使用量を把握していますか	△
		設備運転状況データ	温度、照度、電流値など運転データを測定していますか	△
		精度管理	主要な計測器の校正等精度管理を実施していますか	×
保守・管理	3.1	保守点検基準	主要設備の保守点検の基準はありますか	○
		保守点検記録	主要設備の保守点検の記録はありますか	○
		図面整備	竣工図、系統図等整備されていますか	△
		補修・更新計画	保守点検記録により、補修・更新計画をたてていますか	×
エネルギーの見える化	1.5	エネルギーのグラフ化	エネルギーデータをグラフ化していますか	○
		過年度データ比較	エネルギーの前年度等データはありますか	×
		共有	エネルギーの使用状況等を社内に共有していますか	△
		原単位管理	原単位管理していますか	×
		データ解析	エネルギーの増減等について原因を解析していますか	×
管理PDCAサイクル	1.9	目標設定	省エネ等の目標設定がありますか	△
		目標見直し	省エネ目標の見直しをしていますか	×
		設備改善	設備改善・対策の実施や見直しをしていますか	○
		改善効果	改善・対策の効果の検証をしていますか	×

II 省エネルギー診断結果詳細

エネルギー使用状況について

- ・ 貴施設では年間、原油換算で227kLのエネルギーを使用し、CO₂排出量は約460tです。
- ・ エネルギー費は約1,897万円、用水を加えると約2,440万円となります。
- ・ 延床面積あたりのエネルギー原単位を計算すると、延床面積3,488㎡でエネルギー使用量が8,778,177MJなので、原単位は約2,517MJ/㎡となります。
- ・ 同業種分野での原単位の平均的な値であり、省エネルギー的には平均的な施設と言えます。

1. 年間エネルギー使用量

	エネルギー使用量			原単位 [MJ/㎡]	エネルギー費 [千円]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
	[kL]	[MJ]	割合[%]			
購入電力	163	6,311,130	71.9	1,809	13,170	294
燃料・熱	64	2,467,048	28.1	707	5,800	167
小計	227	8,778,178	100.0	2,517	18,970	460
用水	—	—	—	—	5,434	—
合計	227	8,778,178	100.0	2,517	24,404	460

(建物概要)

用途	病院(介護・福祉)	使用形態	自社専用	構造	
延床面積	3,488㎡	建築面積		地上2階、地下0階	
竣工	1987年4月	改修	2000年9月	平日234人、休日234人	

2. 年間エネルギー使用の構成と特徴

貴施設のエネルギーのうち電力が原油換算ベースで約72%(図1)、金額ベースで約69%(図2)を占めています。また、図3に示すように、CO₂排出量の約64%が電力によるものです。

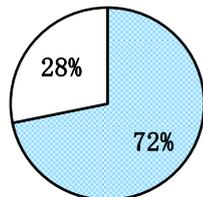


図1:原油換算使用量割合

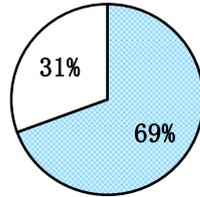


図2:費用割合

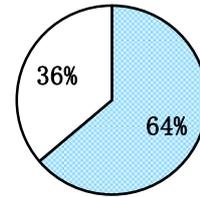


図3:CO₂排出量割合

■ 購入電力
□ 燃料・熱

3. エネルギー原単位

平成15～23年度に当センターが実施した「病院(介護・福祉)」に分類される省エネ診断のうち120件の建物の延床面積とエネルギー使用量の関係を示します。貴施設の位置は図中◆で示します(図4)。同業種では中間的な位置です。今回の提案を確実に実施し、業界内で良い省エネ施設となるよう期待します。

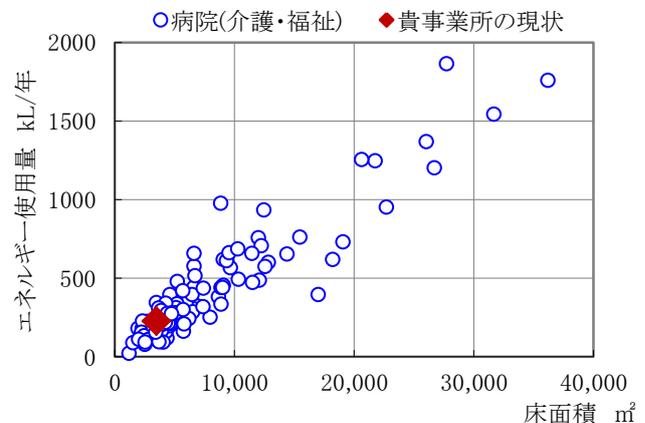


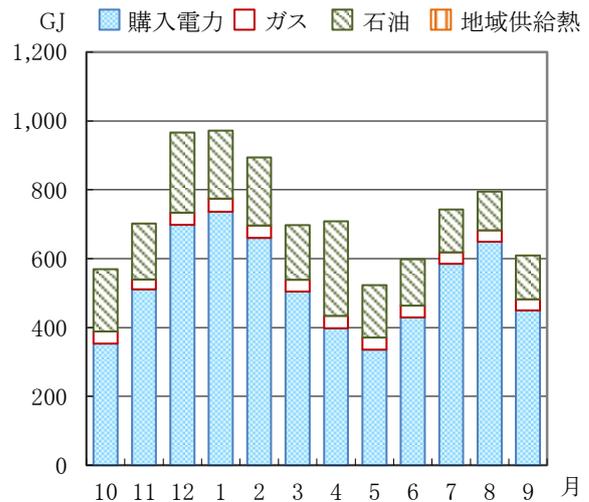
図4:エネルギー使用量、床面積の分布

II 省エネルギー診断結果詳細

4. 月別エネルギー使用量

年間のエネルギー使用量の変動を見る化することは重要です。月ごとのエネルギー消費量について、エネルギー種別内訳の1年間の変化を右図に示します。エネルギー使用量の変動原因を分析することで省エネのヒントが得られます。

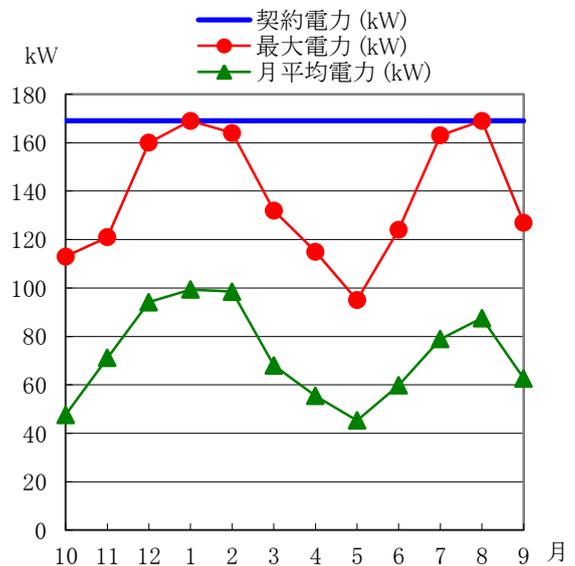
燃料は年間を通して変化が少ないですが、電力については冷暖房期に顕著な増加がみられます。空調についての省エネ対策を中心に実施してください。



5. 月別電力使用量

購入電力については、可能な範囲で消費量の変動を小さくすることが有効です。契約電力および各月の最大電力、平均電力の変化を右図に示します。最大電力は8月の169kWであり、一方年間平均電力は72kWで、最大電力の42.6%となっています。この値(年負荷率)は購入電力の変動状況を示す一つの指標であり、値が大きいほど平準化されているといえます。

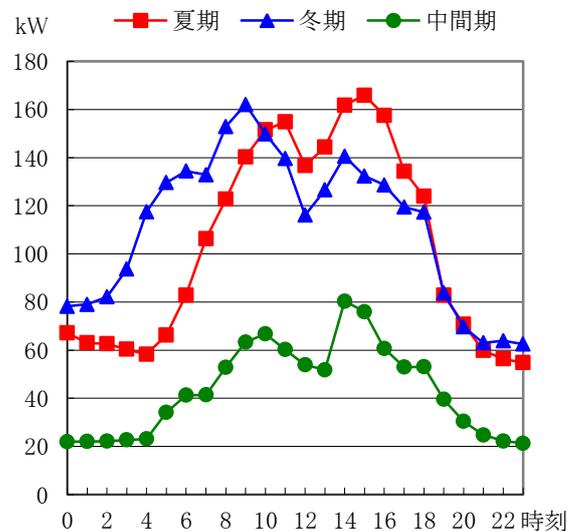
現在は5月を除き1年中空調を使っていますが、爽やかな中間期は空調を止め外気を取り入れることを検討下さい。また、1月と8月のピーク時には空調設定温度の緩和すれば電力消費を抑えることができます。



6. 時刻別電力使用量

時刻によるエネルギー使用量の変動を見る化することも重要です。特に、季節による違いの妥当性等に着目する必要があります。電力使用量の時刻変化を右図に示します。

ヒヤリングの結果、夏季の15時頃のピークは職員活動開始時、冬季の9時頃のピークは職員出勤時に発生しているとのこと。職員と一緒に省エネ活動をすすめ電力ピークを下げましょう。ピークを10kW下げれば年間20万円も削減できます。



		日負荷率
夏期	8月10日(土曜)	62%
中間期	10月15日(火曜)	54%
冬期	2月18日(月曜)	69%

II 省エネルギー診断結果詳細

エネルギー削減ポテンシャルについて

- ・ 今回の省エネ診断でのエネルギー削減ポテンシャル(投資不要・回収5年以下)は、電力については原油換算で19.8kL、削減金額で約160万円、燃料については2.6kL、約21万円、用水については約5万円となりました。
- ・ 投資回収期間別に分類すると、投資不要で運用にて実施可能な提案が原油換算で6.6kL、削減率2.9%、投資回収年数が5年以下の提案で15.8kL、7%、投資回収年数が5年を超える提案で7.6kL、3.3%の削減となります。
- ・ 投資不要の提案及び投資5年以下の提案を合わせて7.7%の削減金額効果を算定しましたが、これらについて優先的に実施されることをお勧めします。

1. エネルギー区分別年間削減効果

エネルギー区分	現状		削減効果(投資不要・回収5年以下)				削減効果(回収5年を超える)			
	費用 [千円]	原油換算量 [kL]	削減額 [千円]	費用削減率 [%]	原油換算量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	削減額 [千円]	費用削減率 [%]	原油換算量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]
電力	13,170	163	1,600	12.1	19.8	35.7	617	4.7	7.6	13.7
燃料・熱 ※	5,800	64	218	3.8	2.6	6.9	0	0.0	0.0	0.0
用水	5,434	—	53	1.0	—	—	0	0.0	—	—
合計	24,404	227	1,871	7.7	22.4	42.6	617	2.5	7.6	13.7

※ 燃料・熱は重油・灯油・都市ガス・LPG・地域熱源供給など電力と用水を除くエネルギーです。

2. 提案区分別年間削減効果

提案の区分	提案数 [件]	削減額 [千円]	原油換算量 [kL]	原油量削減率 [%]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]
運用にて実施可能な提案	5	537	6.6	2.9	13.6	—
投資回収年数が5年以下の提案	2	1,334	15.8	7.0	29.0	3,550
投資回収年数が5年を超える提案	2	617	7.6	3.3	13.7	6,678
合計	9	2,488	30.0	13.2	56.3	10,228

3. 提案内容の説明

- ・ 省エネルギー改善提案一覧(p.2)の詳細を次ページより記載します。
 - － 診断結果説明会の前に、各提案の省エネ計算根拠等に関する詳細な資料をお送りします。
 - － アドバイスシート欄にコードが記入してあるものについては補足資料を用意し、診断結果説明会にて提供します。

II 省エネルギー診断結果詳細

注: マイナス数値は増加を表す

提案1		空調設定温度の緩和			アドバイスシート: B-01			
内容	冷房設定温度は24℃、暖房設定温度は23℃と伺いました。老人ホーム施設であることを考慮して冷房設定温度を25℃に設定することを提案します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	I	電力量	7,723 kWh	161	2.0	3.6	—	—

提案2		空調室外機のフィン清掃			アドバイスシート: —□			
内容	貴施設の空調機の室外機は、定期的に清掃されておらず、塵埃による汚れがあります。フィンの清掃を行うことにより、冷暖房の空調効率の改善をします。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	I	電力量	6,861 kWh	143	1.8	3.2	—	—

提案3		ボイラーの運用変更			アドバイスシート: —□			
内容	現在、ボイラー1を3週間/月、ボイラー2を1週間/月使用していますが、ボイラー2で十分容量が足りていますので、ボイラー2を常時使用することを勧めます。試算はボイラー1に代えて2を使用した場合の燃料使用量の差を試算します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	I	A重油	1,542 L	132	1.6	4.2	—	—

提案4		天井照明の間引き			アドバイスシート: K-01			
内容	デイサービスエリアに必要以上に明るい場所があるので、JIS照度基準を参考に天井照明の間引きで消費電力を削減します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	I	電力量	2,847 kWh	59	0.7	1.3	—	—

提案5		温水ボイラーの空気比低減			アドバイスシート: E-01			
内容	温水ボイラーが3台あり、規制対象外であり、定期点検はなされてません。排ガス中の酸素濃度は測定されてません。空気比改善が可能と想定し提案します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	I	A重油	492 L	42	0.5	1.3	—	—

II 省エネルギー診断結果詳細

注: マイナス数値は増加を表す

提案6		空調機の間欠運転			アドバイスシート: <input type="checkbox"/>			
内容	多数のマルチエアコンを制御する全体管理システムにおいて、屋内機のサーモを30分の間に6分間(3分間を2回)順次サイクリックに強制OFFさせて、室内温度変化を最少に保ちつつ、省エネルギー運転を図ります。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	II	電力量	59,464 kWh	1,237	15.3	27.6	3,500	2.8

提案7		節水型シャワーヘッドへの交換			アドバイスシート: <input type="checkbox"/>			
内容	現在のシャワーヘッドは従来型であり、節水型シャワーヘッドに変更して上水と燃料使用量を削減します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	II	用水	151 m ³	53	—	—	50	0.5
	II	A重油	516 L	44	0.5	1.4	上記	上記

提案8		天井蛍光灯のLED化			アドバイスシート: <input type="checkbox"/>			
内容	貴施設の天井に数多くの旧タイプ蛍光灯があります。この蛍光灯をLED灯に更新することで省エネを図ります。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	III	電力量	25,049 kWh	521	6.4	11.6	6,020	11.6

提案9		誘導灯のLED化			アドバイスシート: <input type="checkbox"/>			
内容	貴施設は開設以来26年となり、設置されている誘導灯も更新の時期となっています。誘導灯は常時点灯されていますので、現状の蛍光灯式から消費電力の少ないLED式に更新します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
	III	電力量	4,604 kWh	96	1.2	2.1	658	6.9

(参考)太陽光発電設備導入		アドバイスシート: <input type="checkbox"/>						
内容	施設屋上は日射条件もよく、太陽電池アレイ設置のための十分なスペースがあります。貴施設ではピークカットの目標達成のため太陽光発電設備導入を検討しているので参考として10kW設備の効果を算定します。							
削減量	区分	エネルギー種類等	省エネルギー量	金額 [千円]	原油量 [kL]	CO ₂ 量 [t-CO ₂]	投資額 [千円]	回収年 [年]
		電力量	9,293kWh	335	2.4	4.3	658	6.9